

A-PARTNERS

足立区 NPO 情報紙
つくる。つながる。ひろがる。

No.46
2024年6月15日発行

編集・発行 2024年6月15日 足立区 NPO 活動支援センター
〒123-0851 足立区梅田7-3-1 (梅田図書館1F) TEL:03-3840-2331 FAX:03-3840-2333 担当所轄: 足立区協働・協創推進課 協働・協創推進担当 TEL:03-3880-5020

みんなの文化祭

つながるひろがる

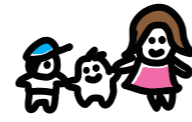


特集

地域活動団体が協働で行ったイベント
団体の協働から地域に広がった「みんなの文化祭」
キッズサポート+NPO 法人 Chance For All

トピック

- 聞きたいあなただけのストーリー ユニバーサルスポーツクラブゆにすぼキッズ
- センターピックアップ マケナイズ
- 頼って!おいでよ!子育ておまかせ処 (一社)コーチングバリュー協会
東京剣舞会エッジ-志伝流-
- コラム スタッフのつぶやき



頼って!おいでよ!子育ておまかせ処



(一社)コーチングバリュー協会 主な活動場所: 足立区全域
お問い合わせ: info@active.or.jp

楽しみながらお悩み解決!

活動内容

運動神経がよくなる「コーディネーション運動教室」を乳幼児～シニア対象で開催しています。子育てのお困りごとを“共感するコーチング”専門のママさんコーチが相談にのります。産前産後体操や宿泊・英語イベントも好評です!

メッセージ

私たちの強みは、運動の好き嫌い、恥ずかしがり屋、元気な子など個性豊かな子どもたちの特徴やペースに合わせてコーディネートできること!その秘密は専門知識を学ぶママさんコーチに!心配事がある方ぜひ会いに来てください!



東京剣舞会エッジ - 志伝流 -

主な活動場所: 北千住・西新井付近
お問い合わせ: sswjp30@gmail.com

文化活動を通じて剣舞体験!

活動内容

北千住・西新井付近にて剣舞・舞踊文化体験を行っております。1月より興本地域学習センターにて、毎月第1・第3水曜日19時～20時30分、剣舞教室を開催。人との関わりを楽しみながら、交流の場を作っております。

メッセージ

礼から始まり礼に終わる。武士道を通してお客様の集中力があつたりお客様を通して保護者の方の交流の場にもなり地域の方との関わりも広がります。見学から気軽にできますので一度遊びに来てくださいませ。



「くわしく聞きたい!」
「自分も可かわ始めたい!」
と思ったら...

地域にどんな活動があるのかな?
私にも何かできるかな?
もっといろいろ知りたい!!
と思った方は、
[足立区 NPO 活動支援センター](#)に
アクセスしましょう。

あだち
協働
パートナー
サイト

X (旧Twitter)

Facebook



〒123-0851
東京都足立区梅田七丁目13番1号
TEL:03-3840-2331
adachi-npo-center@machikatsu.co.jp

スタッフのつぶやき

新・足立区 NPO 活動支援センター誕生!
皆さま、はじめまして! 4月より「足立区 NPO 活動支援センター」に着任いたしました須藤と申します。緑豊かな千葉県流山市より、花の都大東京の足立区へ上京させていただきました。

「足立区 NPO 活動支援センター」は名前のとおり、NPO 活動の支援が主たる目的の施設です。現在では NPO 活動の種類も多岐に渡ります。活動団体をサポートすることで、その先にある足立区の課題解決をしていきたいと思っています。

地域の皆さまとともに足立区を盛り上げていきたいと思っております。新しく生まれ変わった「足立区 NPO 活動支援センター」をよろしくお願い致します。

(センター長・須藤)

*** 足立区 NPO 活動支援センター開館日・開館時間 ***

開館日: (火)～(日)
開館時間: 午前9時～午後9時30分 (月末の平日は午後5時まで)
休館日: (月)、(祝)、年末年始

特集 地域活動団体が協働で行ったイベント

思いを同じくした地域活動団体がひとつのイベントを協働することで、あらたな価値を共に創り上げることができます。今回はふたつの団体が地域の中で一緒に行った「みんなの文化祭」について、キッズサポートとNPO法人Chance For Allにお話を伺いました。

団体の協働から地域に広がった「みんなの文化祭」

キッズサポート + NPO 法人Chance For All

ふたつの団体の協働で始まった「みんなの文化祭」

「キッズサポート」は子育てしやすい地域を目指すために活動している団体で、梅島エリアを中心に勉強会や資源回収などさまざまな活動を行っています。キッズサポートが8年前に地域の子ども会から引き継いで行っている「キッズ夏祭り」はゲームやくじ引き、ラムネやかき氷などの出店があり、子どもたちが1日楽しめるイベントです。コロナ禍で開催が途絶えていましたが、昨年4年ぶりに再開しました。そして「キッズ夏祭り」の関連イベントとして3月に梅田亀田公園で「みんなの文化祭」をキッズサポートと一緒に開催したのがNPO法人Chance For All（以下CFA）。誰もが幸せに生きていける社会の実現を目指して活動しているNPO法人で、学童保育の運営、小学生の放課後に関する調査・研究、居場所づくりやあそび場の運営などさまざまな事業を行っています。ふたつの団体の協働はどのようにして始まり、どのような効果を生んだのでしょうか。

はじめは「キッズ夏祭り」

キッズサポートとCFAの協働が始まったのは8年前のことです。キッズ夏祭りの存在を知ったCFAの代表がキッズサポートに連絡したのが最初で、そこからイベントに出店するという形でのコラボレーションが始まりました。

コロナ禍での中断期間を挟みようやく再開した昨年夏祭りだけでなく、もつと子どもたちを中心としたイベントができないかと考え、CFAの学童に通う子どもたちを中心に、自分たちのやりたいことでお店を出す「みんなの文化祭」を協働で行うことになりました。CFAの学童に通う子どもたちがヨーヨー釣りや工作体験などのお店を出し、イベント全体の企画・運営は「学生メンバー」が行います。学生メンバーはCFAの高校生や大学生を中心としたメンバーで、これまでハロウィンやクリスマスなどのイベントも企画・運営してきた実績があります。

地域への展開

キッズサポート代表の磯部夕子さんはCFAの学生メンバーに企画を一任していましたが、商店街を巻き込んだウォークラリー企画だけはぜひ開催してほしいとお願いしました。子どもたちも参加出来るように、大人も参加出来るように、将来の余暇を充実させることもできます。皆さんと一緒にやってみませんか」と神保さんは呼び掛けます。



子どもからも参加できるのが魅力のひとつ

という要望を伝えました。

「子どもたちに自分の育った地域に誇りを感じてほしい」と思い、活動を続けている。商店街にもイベントに関わってもらうことで、子どもたちはイベントを通して地域の大人を知り、仲良くなり、お互い名前も知らなくても『今度の夏祭りはいつ?』などという会話が地域の中で広がっていく。イベントを通してそのような関係性を作っていくことができれば」とその理由について話します。

磯部さんからの要望を受けて、学生メンバー代表の鈴木幸（つかさ）さんは関三通り商店街周辺を回りウォークラリーに協力してくれる店を探しました。実際に足を運んで話をし、8つの店舗がクイズラリーでイベントに協力してくれることになりました。

鈴木さんは今回のイベントで行った地域との連携について「クイズラリーを行ったことで商店街が子どもたちの居場所になっていくのを感じた。商店街も協力的な人が多く、終了後に挨拶に行くと、またイベントをやるときにはぜひきてほしいと言ってもらえた」と手応えを語ります。

協働で得られたもの

CFAのグループ事業マネージャーの廣瀬陽香（はるか）さんは「今までは地域の団体の人と関わることはあまりなかったが、こんなふうと一緒にやってくれる人がいるということが分かって本当によかった。地域にも自分たちの味方がいて、一緒に走ってくれる人がいるのだと感じることで、今後も地域での活動楽しみにになった」と話します。

磯部さんは「当日は参加者も多く、熱気があり、若い人たちが行うイベントの勢いを感じた。そして高校生や大学生がイベントを運営している姿を見て自分たちもいざればあのようにになりたいという憧れを持った子もいた。それが今後の活動につながっていくのではないかと協働の成果について話しました。



写真左から磯部さん・廣瀬さん・鈴木さん

新規登録団体紹介

誰でも楽しめるユニバーサルスポーツ ユニバーサルスポーツクラブ ゆにすぽキッズ

「ユニバーサルスポーツクラブゆにすぽキッズ」（以下ゆにすぽキッズ）は障がいがあってもなくても誰でも行えるユニバーサルスポーツを子どもたちに提供している団体です。

月に1回、「ポッチャ※」や「ゴールボール」などの体験会を開催しており、3月のポッチャ体験会では30名ほどの子どもたちが参加しました。また、月に2回ほどNPO活動支援センターで開催しているポッチャ練習会は、少人数ですがじっくりポッチャを楽しむことができる機会となっています。※皮製ボールを投げ、白い目標球に

聞きたい、あなただけのストーリー

どれだけ近づけられるかを競う競技。パラリンピックの正式競技にもなっており、誰でも気軽に楽しむことができます。

ゆにすぽキッズは障がいのあるなしに関わらず、多様な子どもたちが集まる明るいコミュニティづくりを目指して活動しています。もともとは足立区内の小学校で特別支援学級の担任をしていた神保有花さん。日々、子どもたちと関わる中で、学校活動以外にも子どもたちがのびのびと活躍する機会をつくりたいと思い、団体を立ち上げました。日頃はあまり会う機会のない子どもたちが、一緒にチームを組み、喜んで励まし合ったりしながらスポーツを楽しんでいる姿を見ると、団体を設立してよかったと感じると言います。

注目の活動

センターピクニックマップ

高齢者施設等での演奏活動 マケナイズ

「マケナイズ」はデイケアで生活する人たちに自分たちの音楽演奏を聞いてもらい、元気になってもらうことを目的に演奏活動を行っている団体です。15年前に音楽好きの友人が集まって結成。現在は演奏者・歌手・音響スタッフが30人、開催時は15人程のメンバーで活動しています。

高齢者施設などで演奏するとき、最初は静かに聞いているみなさんが途中から手拍子を始めたたり、一緒に歌ってくれたりするのを見ると嬉しくなるとのこと。コロナが明けてからは地域のイベントやお祭りなどに招待されて演奏するなど、活動を広げています。



視聴者の応援で演奏活動にも力が入ります